

大阪・関西万博を契機とした 私立学校の取組

令和8年1月20日

文化生活部

大阪・関西万博を契機として、 各校が教育活動を展開

- ・国際交流
- ・探究学習
- ・環境教育
- ・ジェンダー教育
- ・平和学習
- ・その他

【事前学習】



- オーストラリア校とオンラインで、環境問題に係る探究活動を実施(B校)
- 課外活動で、万博関連の工場見学やワークショップに参加(B校)
- パナソニックグループパビリオンに関わった奈良県立医科大学の犬伏雅士教授による講演と骨伝導イヤホン実験の実施(D校)
- 外国人観光客への英語インタビュー、ビーチクリーン活動、企業と連携した環境学習などを実施(E校)
- SDGsや観光資源保全に関する調査の実施(B、E校)
- ベルギー館に勤務する卒業生からの依頼で希望の花プロジェクト(ベルギーと日本の伝統を融合した希望を象徴するフラワーインスタレーション)に参加。全校生徒が3,000本のフラワーペーパーを作成し、国際平和を学習(G校)
- 高校生プロジェクト『ウーパビ』を結成、大学のジェンダー問題専門家と連携し、ジェンダー平等の課題探究を実施(I校)

【当日】



- オーストラリア館で、留学や進学をテーマに発表(A校)
- アイルランド館で、教育支援を目標としたラオスコヒープロジェクトを発表(A校)
- クラゲ館で、来場者参加型のSDGsワークショップを実施(A、B校)
- ルクセンブルク少年合唱団とのステージ発表を実施(C校)
- 日英2言語による進行で、万博来場者を巻き込みながら、クイズ等の企画を実施(C校)
- 日本館でのゴミの再利用をはじめとする循環型社会を学習(G校)
- 大阪ヘルスケアパビリオンで、未来社会体験(iPS細胞、人間洗濯機)、Well-Beingな生き方を学習(G校)
- ウーマンズパビリオンにおいて、ジェンダーワークショップでプレゼンテーションを実施(I校)

【事後学習】

- 万博の各国パビリオンに紹介してもらった海外校とオンライン交流を継続(A校)
- SNSでの情報発信等、主体的に行動を実施(B校)
- サステナビリティ、未来技術等、万博で得た知見をテーマに探究学習を実施(F校)
- 古着をユニセフに送るプロジェクトを生徒主導で実施(H校)

A校の取組（国際交流）



日程：令和7年7月25日

★国際協力プロジェクト「ラオニン」の取組をアイルランド館で発表

活動内容：

- ・ラオスの教育格差解消を目指して、ラオス産フェアトレードコーヒーを仕入れ、オリジナルブランドとして販売、売上を現地の学生寮へ寄附し、農村部の生徒を支援。
- ・アイルランド政府のジェームズ・ローレス大臣も来場され、一連の活動の背景やプロジェクトへの思いを発表し、来場者と共有。

成果：

- ・国際的な舞台での発表を通じて、伝えることの重みと責任、そして社会と自分とのつながりを深く実感。
- ・自らの想いや取組を外部に発信できる貴重な学びの経験となった。

C校の取組（国際交流）



日程：令和7年4月13日

★大阪・関西万博ステージでルクセンブルク少年合唱団と共演

活動内容：

- ・少年合唱団との合唱ステージ、各国で自国の文化を伝える演目を実施
- ・翌日は、来日した合唱団の児童・生徒を学校に招き、交流を実施。音楽・体育・英語などの授業を通じて日本の学校生活を体験することや茶道、書道等の日本文化に触れる交流を行った。

成果：

- ・ステージ発表で、自国の文化や風習を伝えたり、相手国の言語で歌う場面があり、歌によって国際交流が深まった。
- ・学校の交流では1日一緒に過ごし、共通の体験を共有する中で、言葉の壁を越えた国際交流ができた。

A校の取組（環境教育）



日程：令和7年7月24日

★万博の来場者と“理想の世界”について考える参加型ワークショップを展開

活動内容：

- ・2030年以降の未来を高校生の視点で考える国際会議「Global Youth Forum SURVIVE!」のメンバーにより、いのちの遊び場 クラゲ館で、それぞれの「理想の世界」について、思考を深め、共有し、社会課題との繋がりを考えるワークショップを実施した。
- ・「私たちの小さな行動の積み重ねが、未来をより良く変えることに繋がる、理想の世界を私たちの手で作っていきたい」とのメッセージを発信

成果：

- ・身近な社会課題を見つめ、試行錯誤を重ねながら、生徒たちが主体的に企画・運営に携わることで、学びや気づきが深まるとともに、世界を身近に感じられる貴重な体験となった。

E校の取組（環境教育）



★万博の理念と関連して、ビーチクリーン活動を万博外で継続して実施

活動内容：

- ・ハワイアン航空のボランティアグループ「チームコクア」の一員として、白良浜でビーチクリーニングを実施。
- ・ハワイ研修旅行においても、チームコクアの一員として、アラモアナビーチでビーチクリーニングを実施。
- ・海洋プラスチックが、海洋環境に与える脅威について、ハワイの取組を通してSDGsについて学習

成果：

- ・サステナビリティの取組を実際に体験できた。
- ・海を「楽しむ側」から「守る側」へと視点を広げる、貴重な学びの時間となった。

I校の取組 (ジェンダー教育)



日程：令和7年8月31日

★ウーマンズパビリオンで、ジェンダーワークショップに参加

活動内容：

- ・2年生の有志が7か月にわたりプロジェクトチーム「ウーパビ」として探究活動を重ね、成果を発表。
- ・パネルディスカッションでは、大学生や社会で活躍する女性とともに、パネラーとして登壇し、意見交換を実施。

成果：

- ・課題発見から調査、考察、提案まで高校生ならではの視点で発表をまとめた。
- ・全ての女性が活躍できる社会の実現に向けて、ジェンダー問題の解消に取り組む意識が醸成された。

主な参加校の取組

学校名	主な取組	特徴	今後の展望
A校	オーストラリア館での発表、SDGsワークショップ、ラオス教育支援	国際交流、環境教育	海外校との交流継続・拡大
B校	SDGsの事前学習、SNS発信、海外校とのオンライン探究	国際交流、環境教育、発信力	海外校との共同研究継続
C校	ルクセンブルク少年合唱団とのステージ発表	国際交流	国際教育の深化
D校	骨伝導イヤホン等最新技術の体験	探究学習	探究学習の深化
E校	SDGsの課題調査、探究学習	環境教育、探究学習	持続可能な国際交流教育
F校	サステナビリティ、未来技術の学習	探究学習	探究活動の深化
G校	「希望の花プロジェクト」に参加、循環型社会やWell-Beingを体験	環境教育、国際平和学習	環境教育深化、国際交流強化
H校	古着のユニセフ送付プロジェクト	環境教育	環境教育の深化
I校	ジェンダー平等に係る探究活動、ウーマンズパビリオンでのプレゼンテーション	ジェンダー平等、発信力	国際的視野拡大、課題解決型学習推進